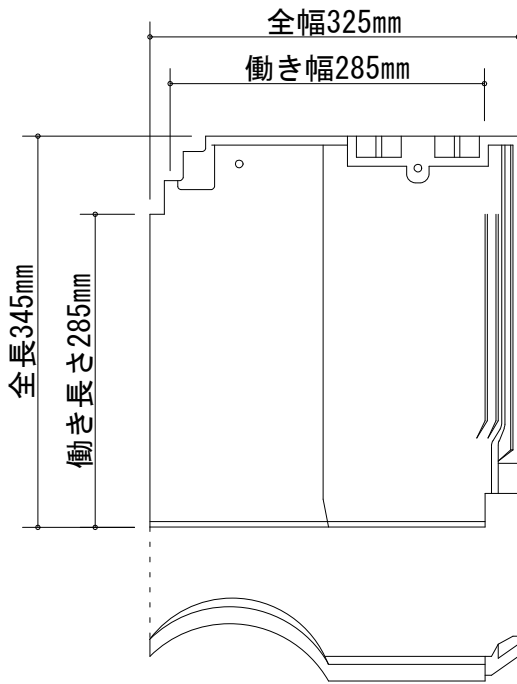


Ⅲ. 波瓦施工

1) 製品仕様書

①-1 商品形状・寸法〈スーパーS40〉

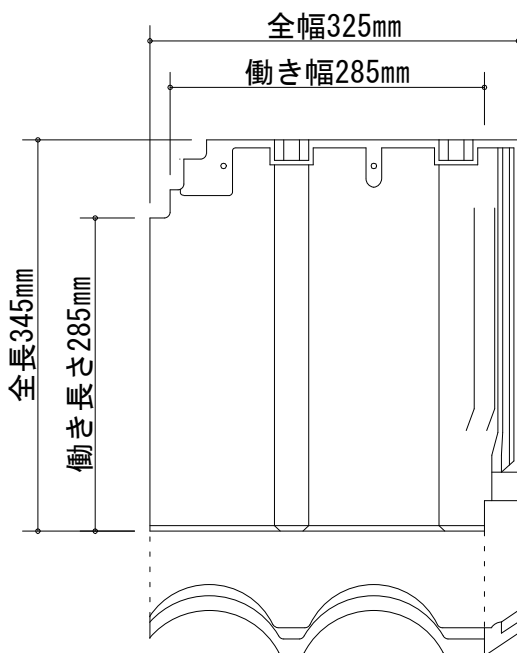


- 標準色
バレンシア・オレンジ
プロヴァンス・イエロー
ボローニャ・ブラウン
- 別注色
セイヴォリーセピア
- 特注色
いぶし
窯変（ライト・ミディアム・ダーク）

項目		仕様
寸法	全長	345±4
	全幅	325±4
	働き長さ	285±4
	働き幅	285±4
棧瓦の重量		約3.5kg
3.3㎡当りの重量		約140kg
3.3㎡当りの枚数		約40枚
屋根勾配		4/10 以上
梱包枚数		360枚/パレット

注：文中では、スーパーS40は、S40と記述。

①-2 商品形状・寸法〈スーパーセラウェーブ〉



- 標準色
バレンシア・オレンジ
プロヴァンス・イエロー
ボローニャ・ブラウン
- 別注色
チェスナットベージュ
セイヴォリーセピア

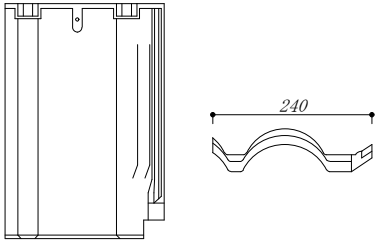
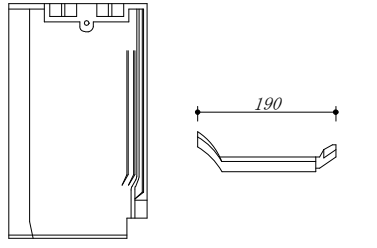
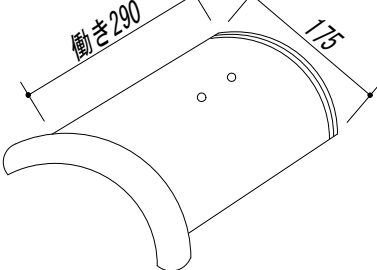
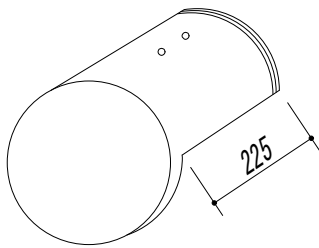
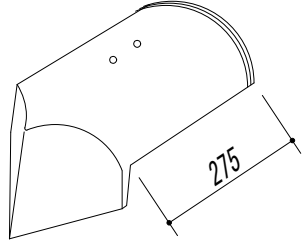
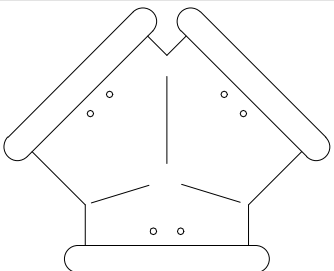
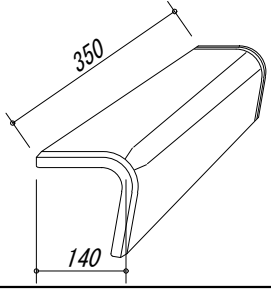
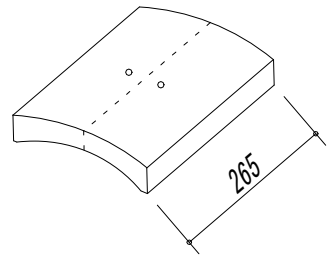
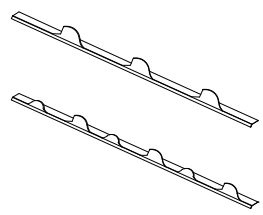
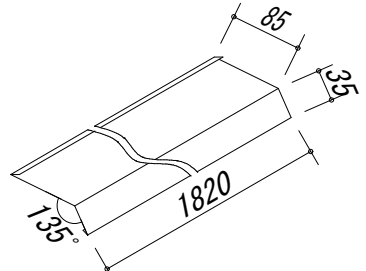
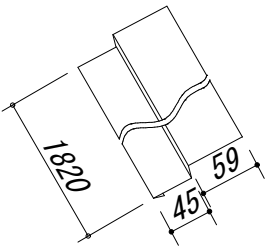
項目		仕様
寸法	全長	345±4
	全幅	325±4
	働き長さ	285±4
	働き幅	285±4
棧瓦の重量		約3.5kg
3.3㎡当りの重量		約151kg
3.3㎡当りの枚数		約40枚
屋根勾配		4/10 以上
梱包枚数		360枚/パレット

注：文中では、スーパーウェーブは、SCWと記述。

Ⅲ. 波瓦施工

1) 製品仕様書

② 付属部資材

	半瓦・左 (SCW)	半瓦・左 (S40)	7寸丸
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	粘土瓦
梱包	4枚1束	4枚1束	4枚1束
	7寸丸巴	7寸丸カッポン	7寸丸三つ又
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	粘土瓦
梱包	1枚	1枚	1枚
	兼用袖	のし	軒先面戸 (L型)
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	S40用 SCW用
梱包	4枚1束	5枚1束	長さ 910mm (瓦3枚分) I型有 ポリプロピレン
	軒先水切135°	軒先水切 (T型)	メンド板金
形状			
材質	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板
梱包	20本/箱	20本/箱	20本/箱

Ⅲ. 波瓦施工

1) 製品仕様書

② 付属部資材

	L型捨水切	谷板水切	雨押（笠木用）
形状			
材質	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板
梱包	20本/箱	10本/箱	10本/箱

	被覆鋼板	壁止まり板金	雪止め金具（ヨロビアン山高）
形状			
材質	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板
梱包	40本/箱		100本/箱


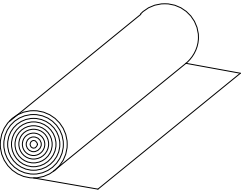
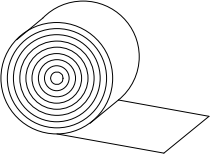
	雪止め金具（シャイン1型）	棟補強金物	樹脂棟
形状			
材質	カラスステンレス（ブラック）	ステンレス	樹脂
梱包	100本/箱	棟補強金物 h=0、40、60、80、95、115 100個/箱	h=20、40、60、80、95 100個/箱

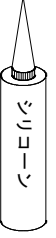
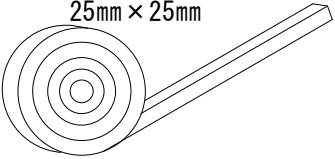
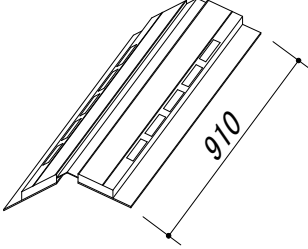
	棧瓦用ステンレスリング釘	軒先ステンレス7形釘	パッキン付ステンレスネジ
形状	 65mm…S40平部 90mm…SCW 100mm…S40山部		
材質	ステンレス	ステンレス	ステンレス
梱包	約4kg	200本	100本

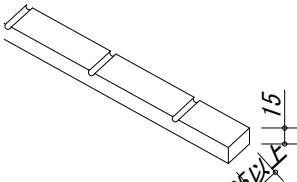
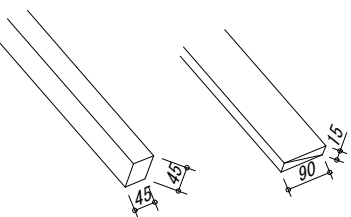
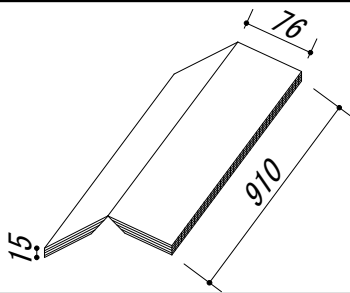
Ⅲ. 波瓦施工

1) 製品仕様書

② 付属部資材

	桟木用釘	ルーフィング (ゴムアス)	防水テープ
形状			ブチルゴム系粘着材使用 
材質 梱包	ステンレス 約4kg	改質アスファルトルーフィング	ブチル粘着

	シーリング材 (コーキング)	シーラー (EPDM)	換気スター
形状	 コニシ(株) 瓦止太郎、もしくは同等品	袖部 15mm×20mm (15mm) 谷部 30mm×30mm 壁際部 15mm×20mmもしくは、 25mm×25mm 	
材質 梱包	変性シリコン	EPDM 1箱 (20本)	ポリプロピレン 天井面積30.72㎡分/910mm

	瓦棧	棟・隅棟下地、笠木	アンダーベンツ
形状	 高さ15×幅25以上で水抜き孔を下部にして使用 ※瓦棧下木摺 (ルーフテープ) は不要	 30×40でも可	
材質 梱包	木製	木製	ポリプロピレン 天井面積35.0㎡分/910mm

形状			
材質 梱包			

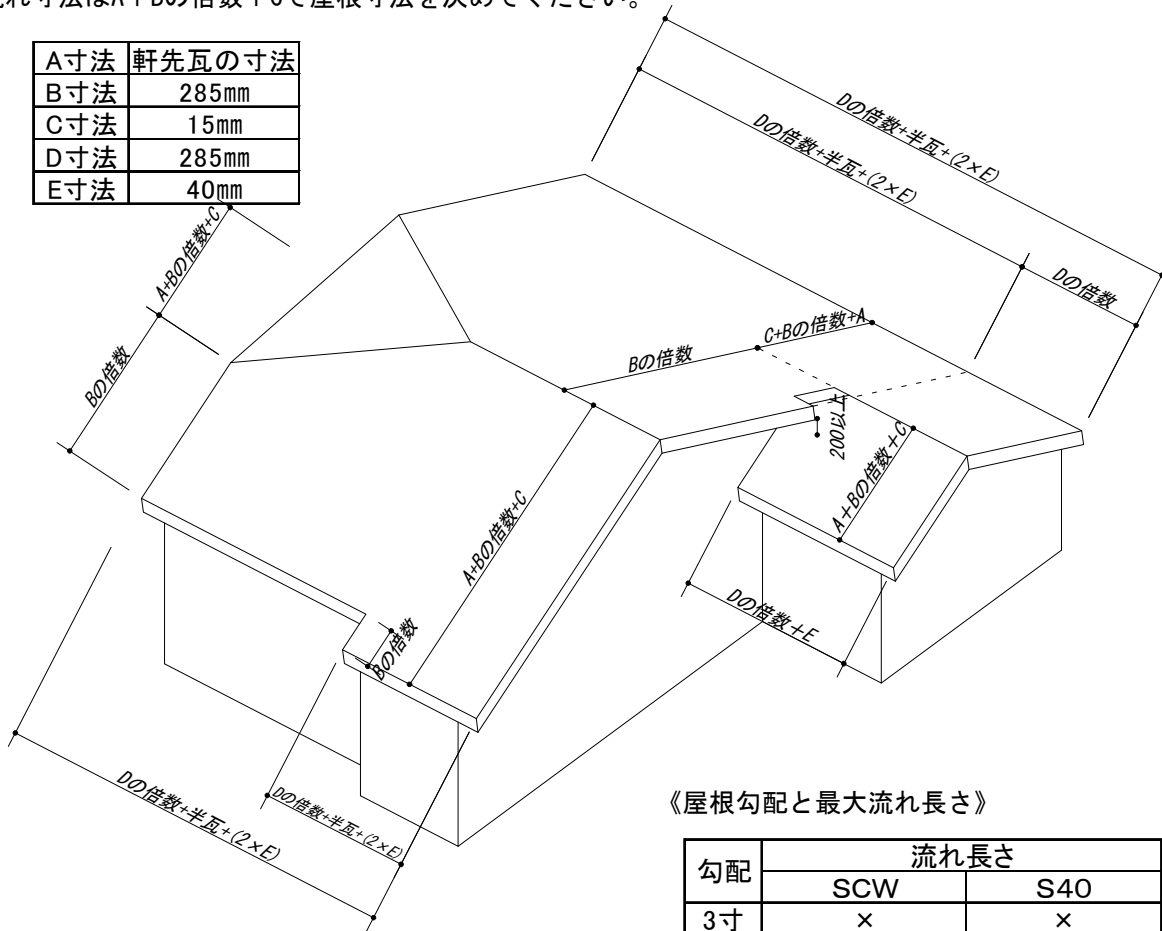
Ⅲ. 波瓦施工

2) 野地合板の割付け

① 野地合板の割付け

桁行寸法はDの倍数+ $(2 \times E)$ で屋根寸法を決めてください。
 流れ寸法はA+Bの倍数+Cで屋根寸法を決めてください。

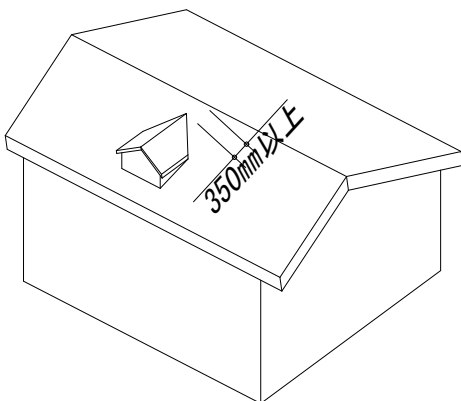
A寸法	軒先瓦の寸法
B寸法	285mm
C寸法	15mm
D寸法	285mm
E寸法	40mm



《屋根勾配と最大流れ長さ》

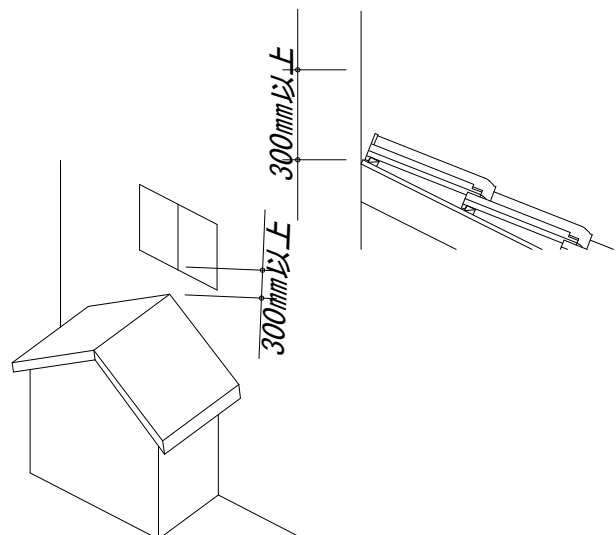
勾配	流れ長さ	
	SCW	S40
3寸	×	×
4寸	8m	8m
5寸	12m	12m
6寸	17m	17m

ドーマー部



※V谷頂点と陸棟の間隔を350mm以上あけてください。

サッシ下切替部



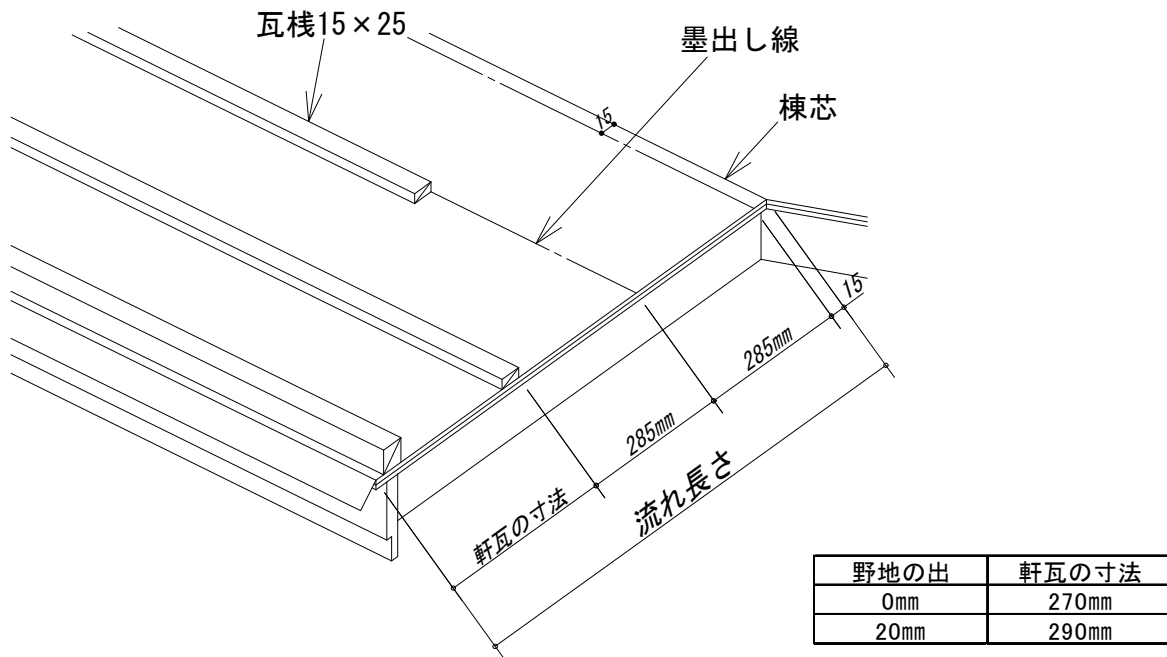
※棟頂点とサッシの間隔を300mm以上あけてください。

Ⅲ. 波瓦施工

3) 屋根下地の施工

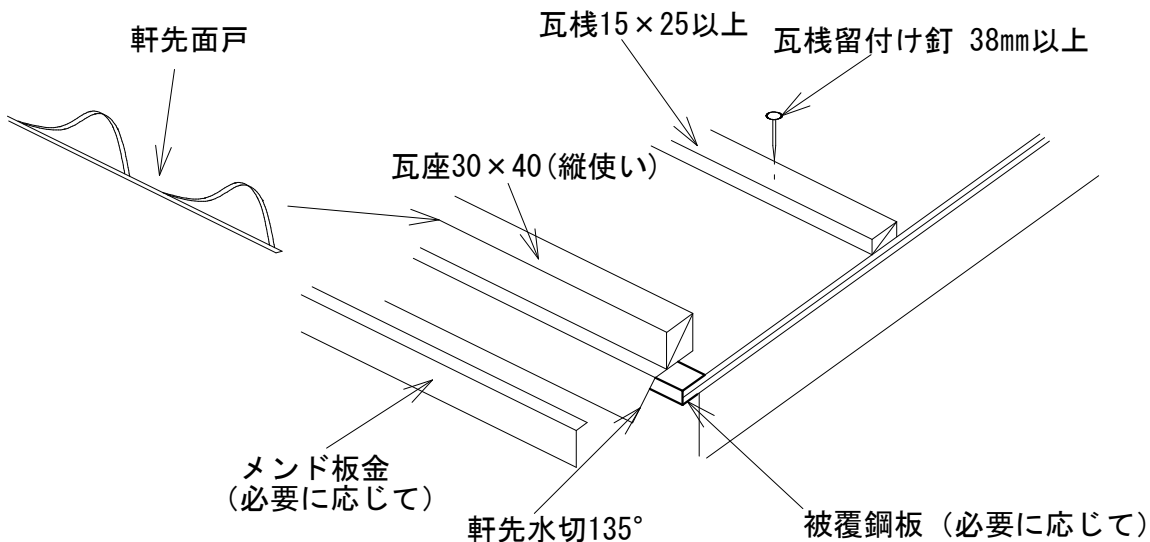
① 平部

- (1) 軒先1段目の瓦棧間隔は、軒先瓦の働き寸法に従い墨打ちをする。
- (2) 棟部では、棟芯より15mm下がったところに墨打ちをする。
- (3) 2段目以降は、285mmで均等に割付けて墨打ちをする。



② 軒先（軒先水切135° 瓦座仕様）

- (1) 瓦棧は、15×25mm以上を使用する。
- (2) 瓦棧の水抜き孔を下部にして上端を正確に墨に合わせ、垂木ピッチで釘打ちをする。
(ルーフトープ等のスペーサーを使用しない場合)
- (3) 軒先面戸を使用する。
- (4) 瓦座も、瓦棧と同様に水抜き処理をする。
- (5) 瓦座の固定は、必ず垂木ピッチとする。

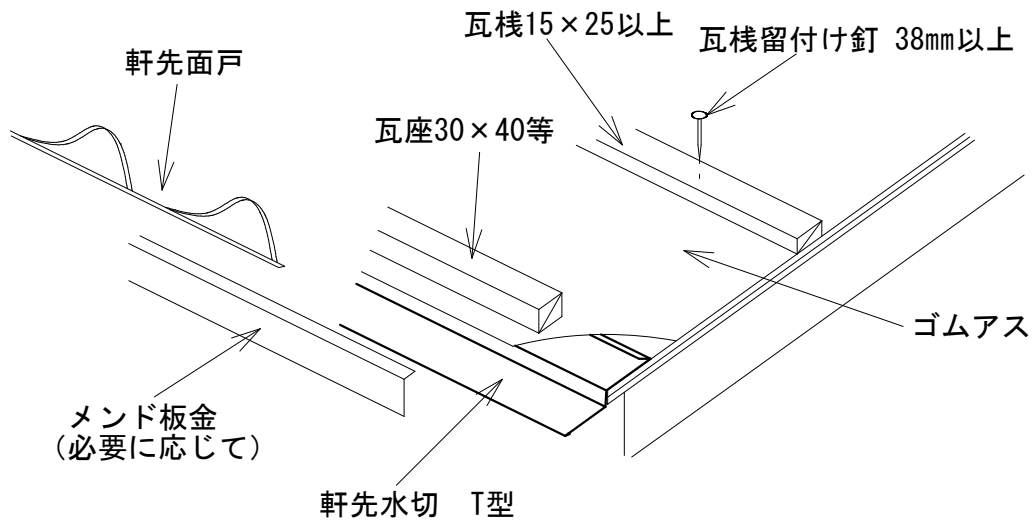


Ⅲ. 波瓦施工

3) 屋根下地の施工

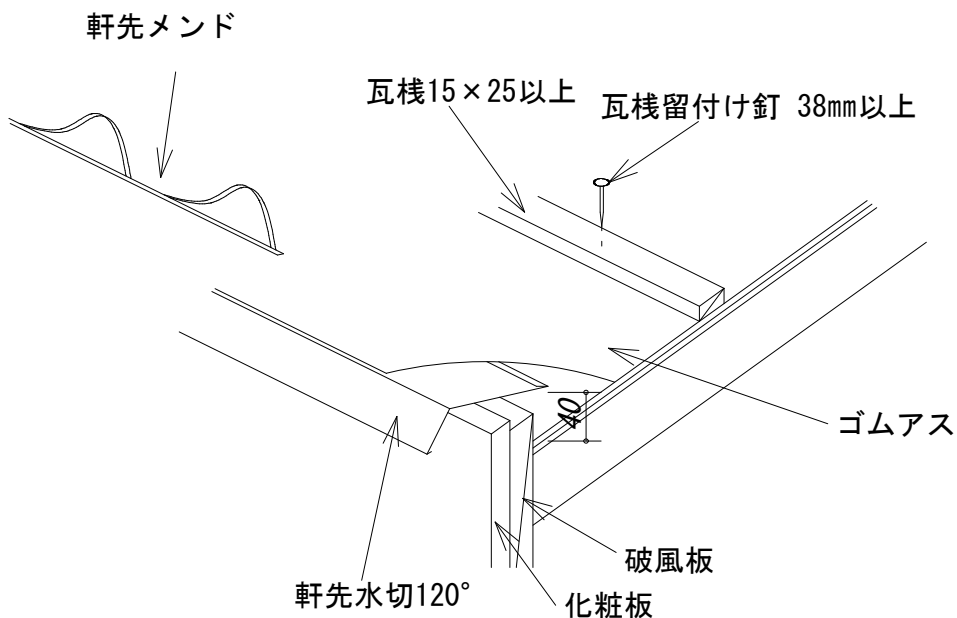
③ 軒先（軒先水切T型、瓦座仕様）

- (1) 瓦座は、 30×40 mm等を使用する。
- (2) 軒先水切→ゴムアス→瓦座→軒先メン드의順に施工していく。
- (3) 必要に応じて、野地の被覆鋼板を取り付ける。
- (4) 軒先面戸を取付ける。
- (5) 瓦座も、瓦棧と同様に水抜き処理をする。
- (6) 瓦座の固定は、必ず垂木ピッチとする。



④ 軒先（化粧仕舞）

- (1) 化粧板を野地板より 40mm 上げる。
- (2) 軒先水切→ゴムアス→軒先メン드의順に施工していく。
- (3) 軒先面戸を取付ける。

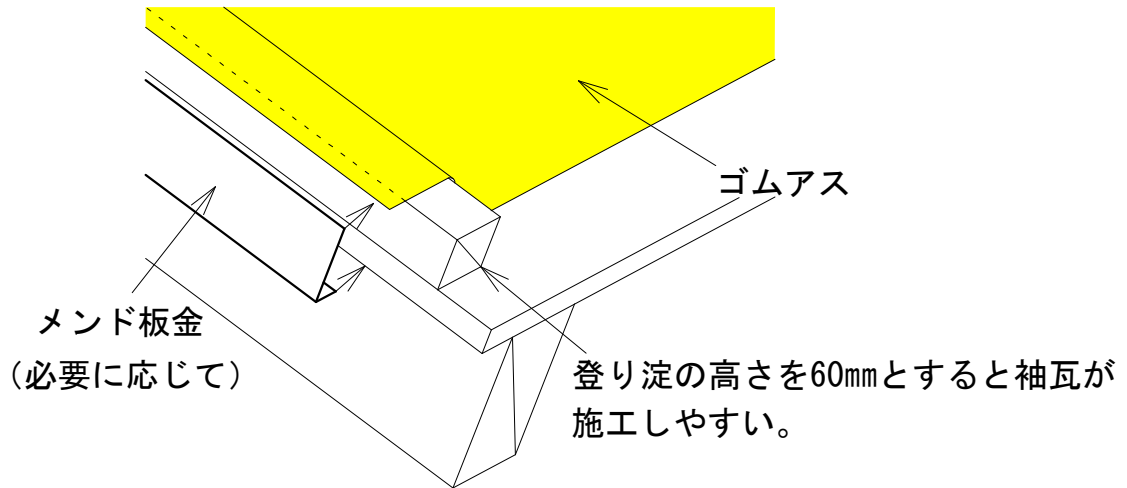


Ⅲ. 波瓦施工

3) 屋根下地の施工

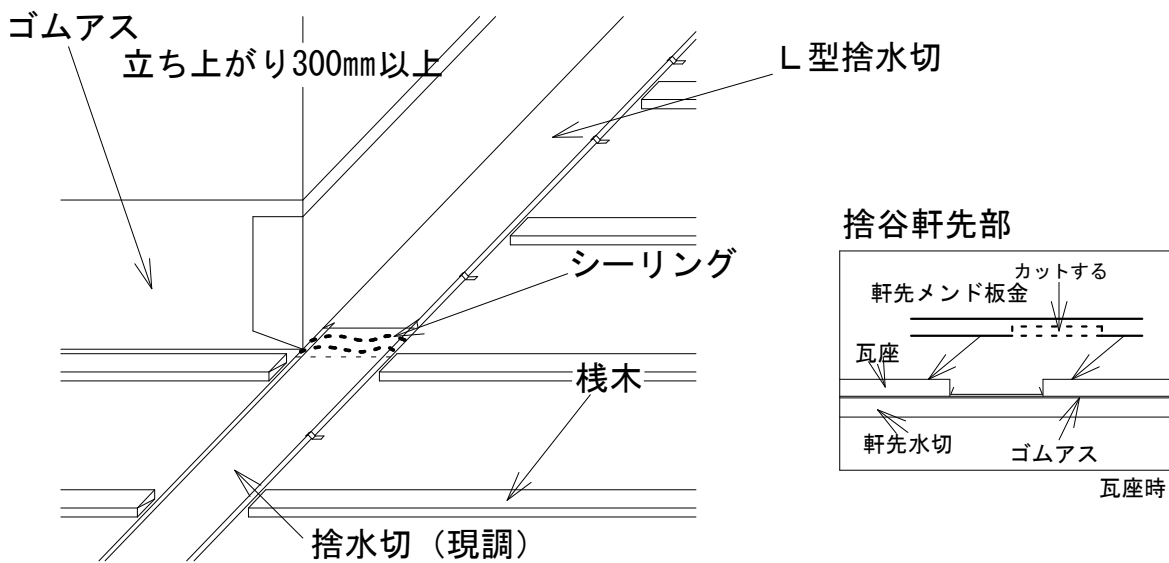
③ ケラバ部

- (1) メンド板金の曲がっている方向を下にし、野地・登り淀を被覆する。
- (2) ゴムアスは、登り淀を包み込むように施工する。
- (3) 必要に応じて、ケラバ捨水切を取付ける。



上図メンド板金は、必要に応じて取付ける。

④ 捨水切・流れ壁際部



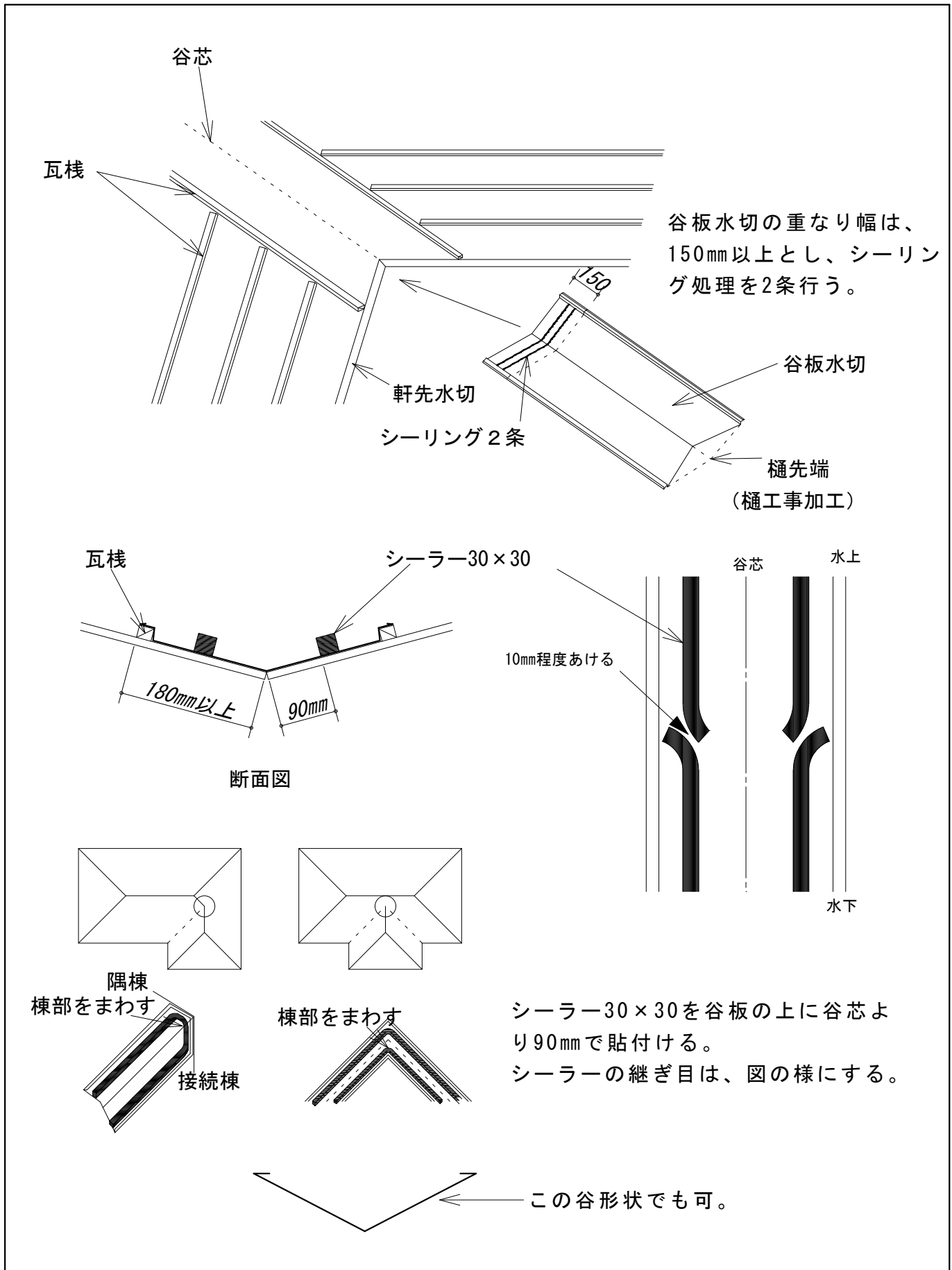
- (1) 流れ壁際には、L型捨水切を取付ける。
- (2) 上図のような上階出隅部の捨水切端部は、現場にて加工を行う。
- (3) 上図のような上階出隅部の軒先部は、瓦座を切断し捨水切端部を通す。
軒先メンド板金は、捨水切端部分の水流れを確保するようにをカットする。

(右上図)

Ⅲ. 波瓦施工

3) 屋根下地の施工

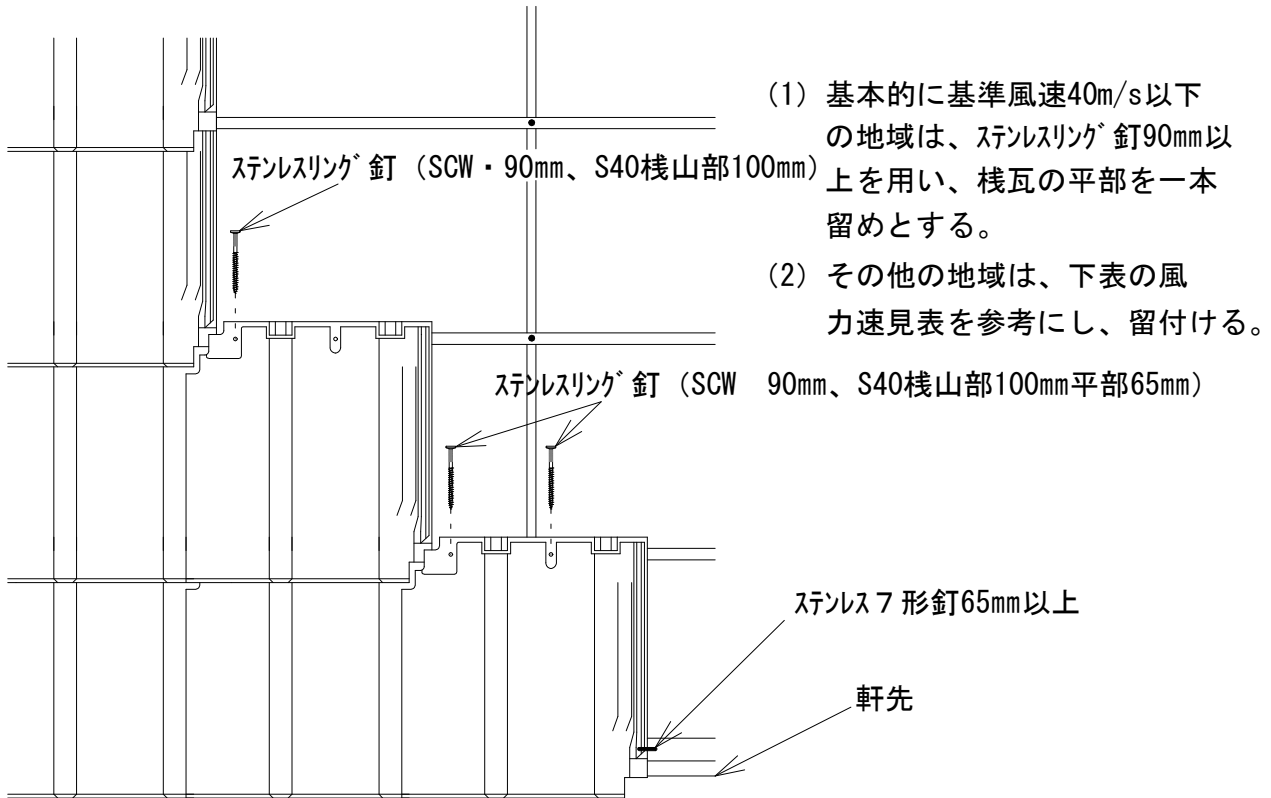
⑦ 谷部



Ⅲ. 波瓦施工

4) 屋根材の施工

① 平部



部位 基準風速	平部	外周部	隅角部	棟端部
30m/s	平部一本留め	平部二本留め	平部二本留め	平部二本留め
32m/s	平部一本留め	平部二本留め	平部二本留め	平部二本留め
34m/s	平部一本留め	平部二本留め	平部二本留め	平部二本留め
36m/s	平部一本留め	平部二本留め	平部二本留め	平部二本留め
38m/s	平部一本留め	平部二本留め	平部二本留め	平部二本留め
40m/s	平部一本留め	平部二本留め	平部二本留め	平部二本留め
42m/s	平部二本留め	平部二本留め	平部二本留め	ビス留め

- (1) 上表は、屋根面平均高さ8mを基準として、繰返し引き上げ試験結果より算出したものです。
- (2) 構造計算が必要な場合は、物件ごとに算出してください。
- (3) 42m/sを超える地域の場合、近畿セラミックス(株)にお問い合わせしてください。

Ⅲ. 波瓦施工

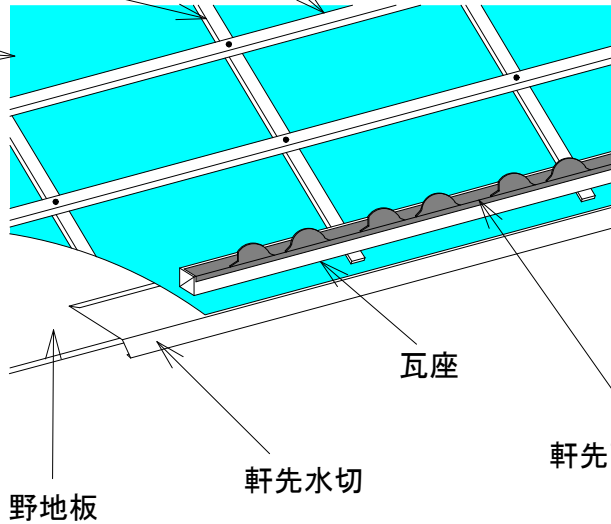
4) 屋根材の施工

② 軒先部

ルーフトープ
タッカー等で仮留めをする。

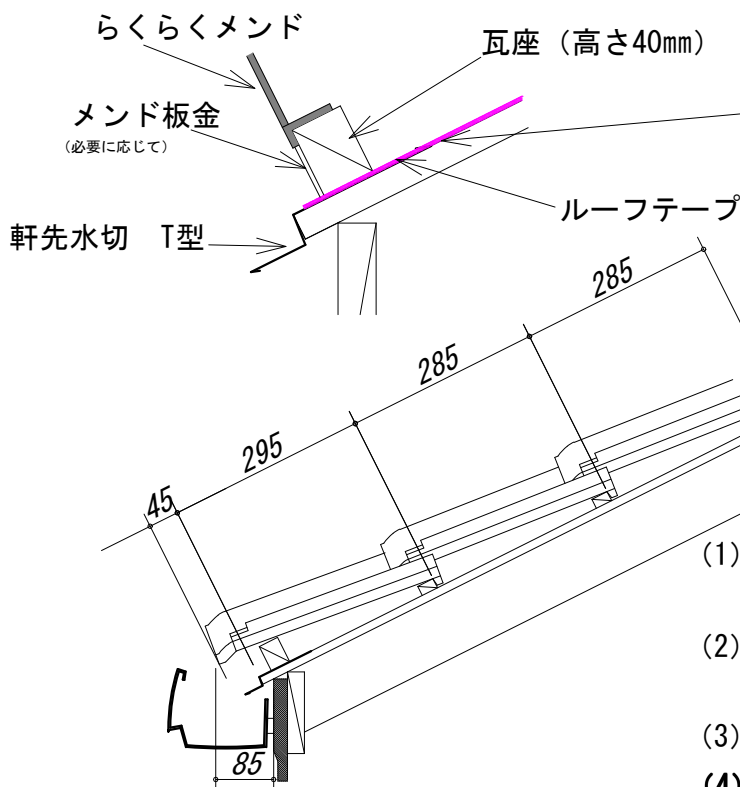
瓦棧15×25以上（留付けは、垂木ピッチ）

ゴムアス



- (1) 軒先は、軒先水切・ゴムアス・ルーフトープ・瓦座の順に施工する。ルーフトープは、垂木ピッチで取付ける。
- (2) 瓦棧の取付は、ルーフトープを使用する場合は、ステンレスリング釘を使用する。（垂木ピッチ）
- (3) ルーフトープ等を使用する浮かし棧工法を行わない場合は、棧木に水切溝をつけるなど、同等の役割を担う仕様にする。

☆必要に応じて、瓦座にメンド板金を施工する。



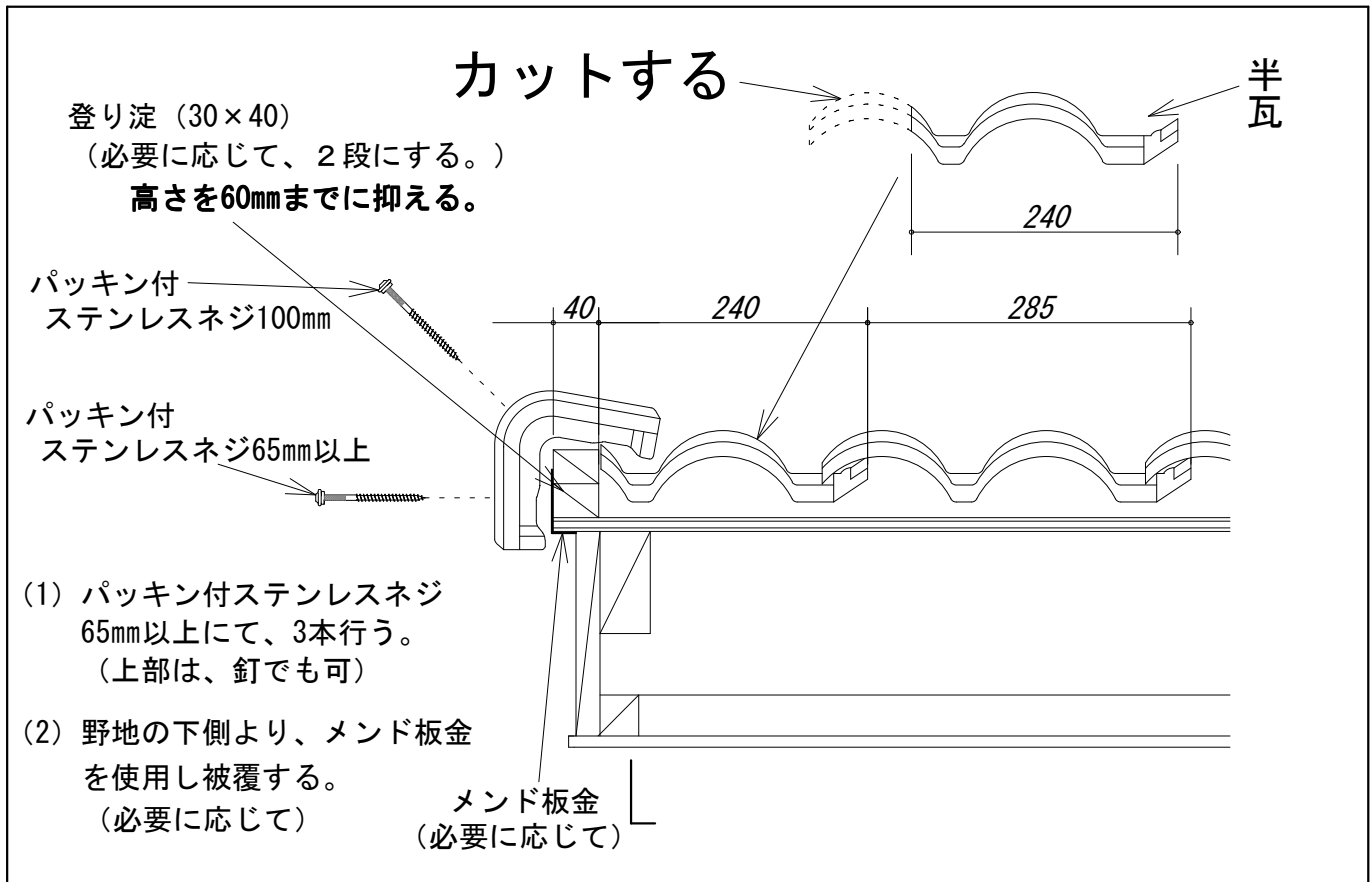
ルーフトープを使用する場合、必ず瓦座の前までくるように施工する。

- (1) 野地板が化粧板より20mm出ている場合は、軒瓦の出を45mmとする。
- (2) 登り方向の働き寸法は、1段目を軒先より310mmとし、2段目以降を285mmとする。
- (3) 使用する瓦を実測後、割付をする。
- (4) 瓦と樋の取り合いは、工務店・ハウスメーカーにより異なります。十分打ち合わせの上、軒瓦の出を決めてください。

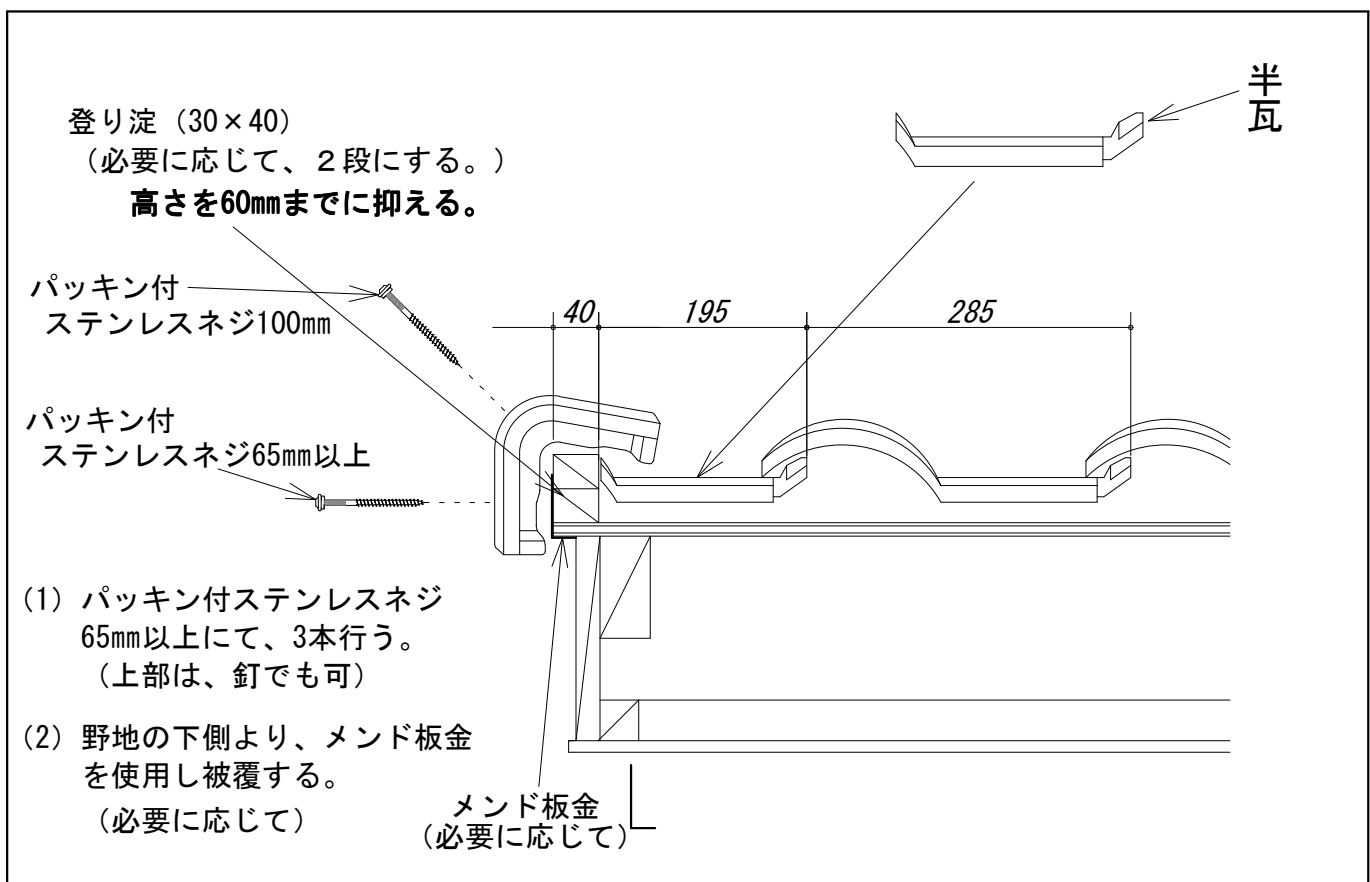
Ⅲ. 波瓦施工

4) 屋根材の施工

③ ケラバ部 (SCW)



④ ケラバ部 (S40)

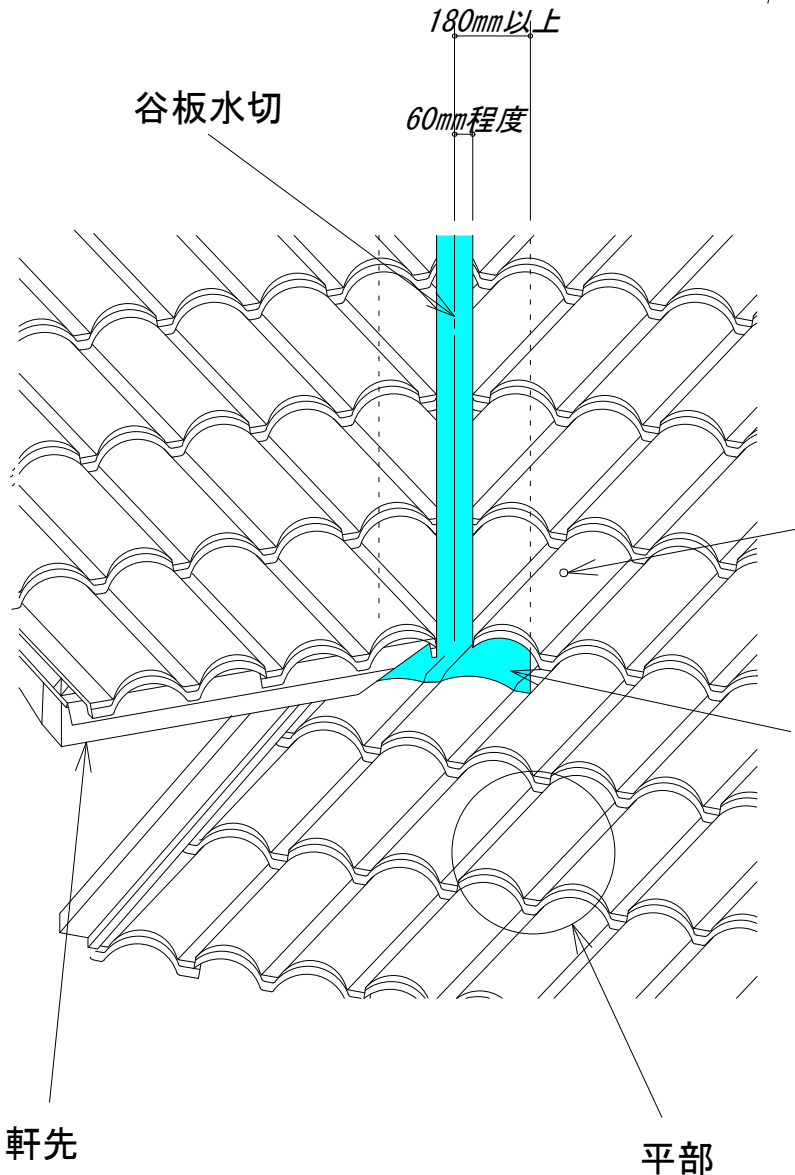
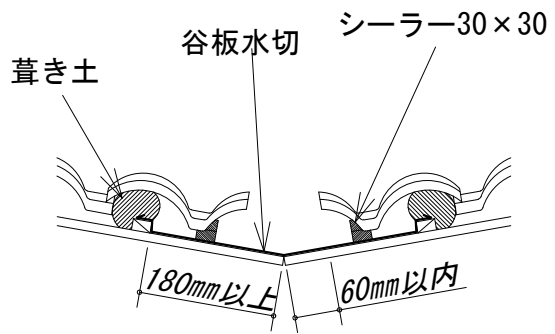


Ⅲ. 波瓦施工

4) 屋根材の施工

⑤ 谷部

- (1) 片幅 180mm以上の谷板水切を使用し、下図のようにシーラーを用い、施工する。また、必要に応じて葺き土を使用する。シーラーの高さが低い場合は、適当な長さに切り、重ねる。
- (2) 小口の幅は、60mm以内とする。



谷板水切で瓦が浮き上がる場合、棧山にビス止めを行う。
谷板水切に干渉しない事。

谷板水切をセラウエーブ
棧山に沿って折り曲げる。

注：谷部より3枚目まで瓦用接着剤を用い、瓦同士を接着させる。

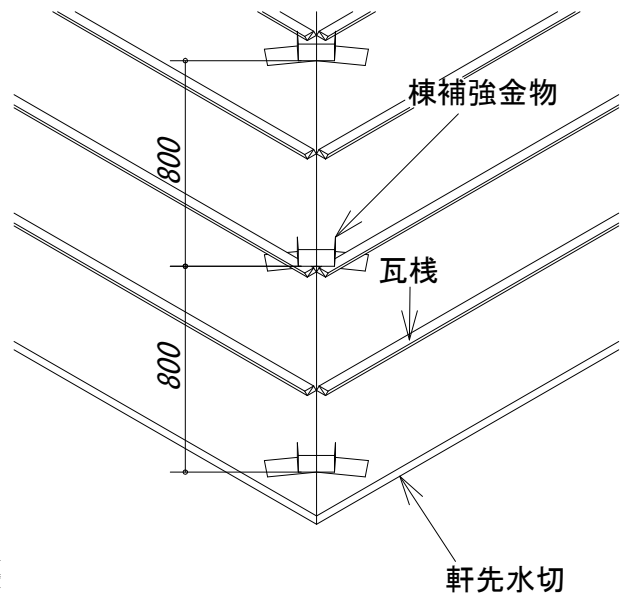
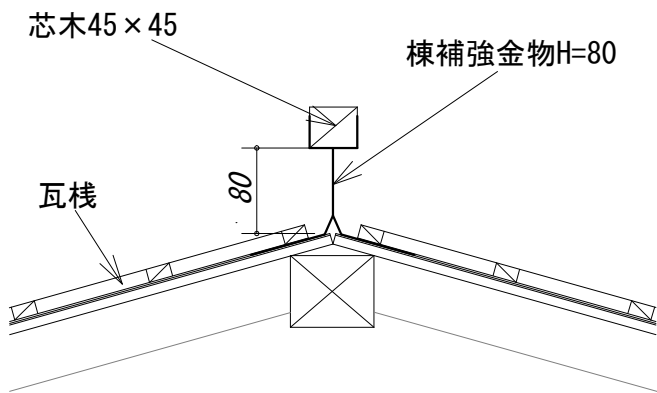
注：S40も同様。

Ⅲ. 波瓦施工

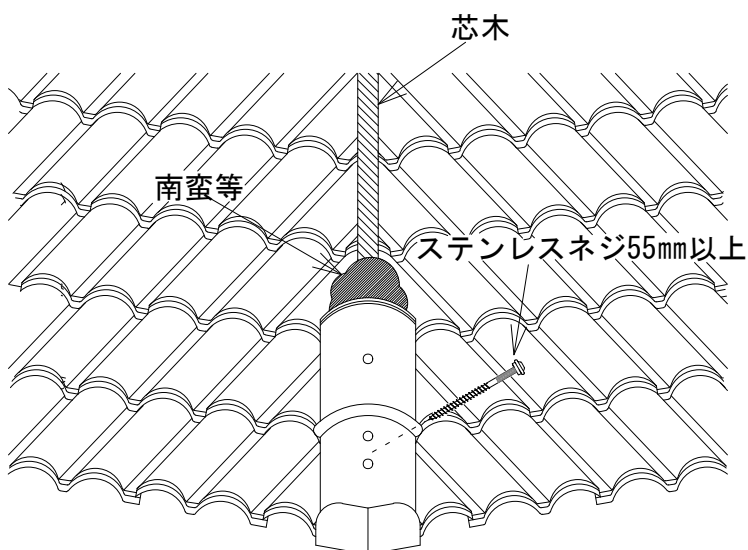
4) 屋根材の施工

⑥ 隅棟部 I

- (1) 棟補強金物は、800mm以内のピッチにて、垂木に留付ける。
- (2) 45×45の芯木を使用した場合、H=80の棟補強金物を使用する。
棟瓦の高さに足りない場合は、棧木等を付け足す。



⑦ 隅棟部 II



- (1) パッキン付ステンレスネジ55mm以上を用いて、カッポンには2本、7寸丸には1本、留付ける。
- (2) 棧瓦と7寸丸の隙間には、南蛮等を充填する。
- (3) 芯木が低い場合は、瓦棧等を重ね調整する。

Ⅲ. 波瓦施工

4) 屋根材の施工

⑧ 陸棟部

パッキン付ステンレスネジ55mm以上

芯木45×45

葺き土

棟補強用金物 H=80

7寸丸

- (1) 大棟際には、半瓦（切瓦）を使用する。
- (2) 大棟際に一枚物を使用すると棧瓦の上部切り鎌部分が露出するため、切瓦を使用する。
- (3) パッキン付ステンレスネジ55mm以上にて留付ける。
- (4) 棧瓦と7寸丸の隙間には、葺き土を充填する。
- (5) 芯木が低い場合は、瓦棧等を重ね調整する。

⑨ 壁際部（平行側）

- (1) 壁際平行部には、のし瓦を2段使用する。
- (2) 留付けは、受け棧を壁に取付け、のしアンカー等を用い銅線にて留付ける。棧瓦とのし瓦の隙間には葺き土を充填する。
- (3) のし瓦全数緊結

☆雨押え（笠木用）のみでも可。

受け棧

緊結用銅線

葺き土

《施工例》

⑩ 壁際部（平行側）

緊結用銅線

葺き土

L型捨水切

《施工例》

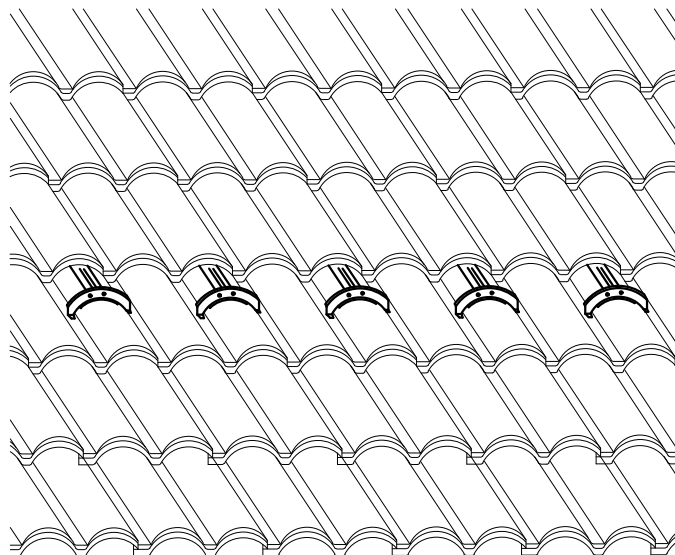
- (1) 流れ壁際部にも、のし瓦を2段使用する。
- (2) 留付けは、受け棧を壁に取付け、のしアンカー等を用い銅線にて留付ける。棧瓦とのし瓦の隙間には、葺き土を充填する。
- (3) のし瓦全数緊結
- (4) 最上部には、雨押えを取り付ける。
☆雨押え（笠木用）のみでも可。

Ⅲ. 波瓦施工

4) 屋根材の施工

⑪ 雪止め金具の取付け (S CW)

- (1) 雪止め金具を用い、右図の様に取付ける。
- (2) 積雪量の多い地域は、千鳥配列にするなど、工夫を要する。
- (2) S40は、SCUで使用する雪止め金具シャインI型を水平部に使用。



《施工例》

●編集 近畿セラミックス株式会社

●連絡先 近畿セラミックス株式会社
兵庫県淡路市大谷881-8

Tel 0799-64-0631(代) Fax 0799-64-0595

(禁無断転載) 2014. 7. 15